

平成20年7月23日

記者発表資料

## 平成19年度大気環境、水域環境の状況等(概要)

－SPM(浮遊粒子状物質)が全測定局で初めて大気環境基準達成－

神奈川県では、国及び政令市と連携し、大気環境及び水域環境の調査と、ダイオキシン類などの化学物質調査を行っています。

今回、平成19年度の測定結果をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

調査の結果、大気環境についての調査では、SPM(浮遊粒子状物質)が全測定局で初めて、環境基準を達成しました。また、水域環境についての調査では、鶴見川上流域で初めて、BOD(生物化学的酸素要求量)が環境基準を達成しました。

### 1 大気環境の状況 (別紙、資料1)

#### 大気汚染物質についての常時監視測定結果

- ・二酸化窒素の環境基準達成率は97.8%(93局中91局)となり、過去最高の達成率。
- ・浮遊粒子状物質の環境基準達成率は100%(93局中93局)となり、初めて全測定局で環境基準を達成。
- ・光化学オキシダントは、平成2年度以降全測定局で環境基準を達成していない。

#### 有害大気汚染物質の測定結果

- ・ベンゼンの環境基準の達成率は95.5%(22地点中21地点)となり、18年度の86.4%(22地点中19地点)に比べて上昇した。

### 2 水域環境の状況 (別紙、資料2)

#### 川や湖、海などの公共用水域の測定結果

- ・BOD又はCODの環境基準の達成率は88.7%(53水域中47水域)となり、18年度の84.9%(53水域中45水域)に比べて上昇した。
- ・継続して環境基準を達成していなかった鶴見川上流では、初めて環境基準を達成した。

#### 地下水の測定結果

- ・カドミウムなどの環境基準項目の環境基準の達成率は97.1%(105地点中102地点)となり、18年度の95.2%(105地点中100地点)に比べてやや上昇した。

### 3 化学物質調査の結果 (別紙、資料3)

#### ダイオキシン類環境調査

・県域(横浜市、川崎市、横須賀市及び相模原市を除く)において、大気(19地点)、公共用水域(32地点:水質及び底質)、土壌(15地点)及び地下水(8地点)合計74地点で調査を行った結果、全地点で環境基準を達成した。

#### 化学物質環境モニタリング調査

・トルエンなど12物質について、県域(横浜市及び川崎市を除く)において、排出量が多い市町を中心とした15地点で調査を行った結果、全地点で評価基準(大気環境基準等)を下回った。

- 別紙 [平成19年度大気環境、水域環境の状況等](#) (PDF: 226KB)  
資料1 [平成19年度大気環境の状況について](#) (PDF: 754KB)  
資料2 [平成19年度水域環境の状況について](#) (PDF: 754KB)  
資料3 [平成19年度化学物質調査結果について](#) (PDF: 2,285KB)



PDFファイルを御覧いただくには、アドビシステムズ社が無償配布しているAdobe Readerが必要です。アイコンをクリックすると、ダウンロードページが別ウィンドウで表示されます。

問い合わせ先  
[環境農政部大気水質課](#)  
課長 岸川  
電話 045-210-4100  
課長代理 小林  
電話 045-210-4103  
大気指導班 鷺山  
電話 045-210-4111  
水質指導班 伊藤  
電話 045-210-4123  
化学物質対策班 塩谷  
電話 045-210-4119